

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	光明第七こども園
活動日時	2025.7.15
クラス（年齢）	道組（5歳児）
年間テーマ	自然

1. 活動テーマ

《テーマ》

コロコロ坂道をつくろう！第2弾

《テーマの設定理由》

「みんなのもり」を発展させていくために行ってきた子ども達の話し合いの中で、新しい木の遊具があるとみんなも遊べるという意見があり、どのようなものがあるとよいのかと更に話し合いを深めた。結果、小さい子も遊べるドングリなどの木の実を転がせられる遊具と決まったことから、材木の切り方、道具の使い方、転がして遊ぶための適切な傾斜の角度などについても探求してきた。前回の道具との出会いから今回は初めての釘打ちにも挑戦し、素材との関わり方についても学びを深めてほしいと考えた。

2. 活動スケジュール

前回のグループに分かれて保育者の見守りの下、設計通りに木を組みながらかなづちで釘を打っていく。かなづちを全員で使用していくのは危険が伴うので釘打ちのグループ、木に模様を描くグループと大きく分けて行う。

3. 探求活動の実践

《活動の内容》（活動のために準備した素材や道具、環境の設定）

木材、かなづち、釘、ペン

《活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関り》

保育者：「今日はこのかなづちを使って釘を打つよ。持ったことある？」
子ども：「ない！重そう…」
保育者：「少し重いけど、しっかり持つと大丈夫。片方の手でかなづち、もう片方で釘を支えるよ。」
子ども：「こわいな…」
保育者：「大丈夫。最初は私が釘を押さえるから、軽くトントンしてみようか。」
子ども：「…トントン…あ、動いた！」
保育者：「そうそう、その調子。力を入れすぎず、リズムよく叩くとまっすぐ入っていくよ。」
子ども：「ほんとだ！まっすぐになってきた！」
保育者：「最後まで入ったね。初めてなのにとっても上手！」
子ども：「もっとやってみたい！」

試作中

子ども：「あれ？途中で止まっちゃった」
保育者：「どこで止まった？」
子ども：「ここ！ここがぼこってる」
保育者：「じゃあどうしたら転がるかな？」
子ども：「やすりで削ったらいいんじゃない？」



4. 振り返り

《振り返りにより得た保育者の気づき》

遊びの目的（ドングリを転がす）と製作活動がつながったことで、子どもの主体的な関わりが深まった。道具や素材の扱い方を安全に学びながら、構造や重力の働きについて自然に考える機会になった。子ども同士の協力や試行錯誤の姿が多く見られ、探究心や問題解決力の芽生えが感じられた。今後は、長さや高さを変えたり分岐コースを作るなど、継続的に改良していく活動へ発展できる。